

会議記録

会議名称	第11期（令和2・3年度）第1回杉並区男女共同参画推進区民懇談会	
日時	令和2年12月16日（水） 午後6時30分～8時01分	
会場	杉並区役所 第5・6会議室	
出席者	委員	9名 村松委員、高畑委員、渡邊委員、成見委員、原委員、森川委員、赤池委員、近藤委員、三浦委員 ※欠席者5名
	事務局	7名 区民生活部長、男女共同参画担当課長、男女共同・犯罪被害者支援係長、担当者4名
傍聴者	0名	
配布資料	<p>資料1 杉並区男女共同参画推進区民懇談会運営要綱</p> <p>資料2 第11期（令和2・3年度）杉並区男女共同参画推進区民懇談会委員名簿</p> <p>資料3 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（令和元年度実績）</p> <p>【参考資料】</p> <p>杉並区男女共同参画行動計画 平成30～33年度（2018～2021年度）※</p> <p>杉並区男女共同参画行動計画 平成30～33年度（2018～2021年度）概要版 ※</p> <p>杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（平成30年度実績）※</p> <p>（※の資料は、第11期からの新規委員のみ配布）</p>	
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 区民懇談会の概要について 3 委員自己紹介 4 司会の選出 5 議題 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（令和元年度実績）について 6 連絡事項等 7 閉会 	
会議要旨	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 <ul style="list-style-type: none"> ○事務局 男女共同参画推進区民懇談会（以下「区民懇談会」）を公開とすること、会議録を作成し区公式ホームページで公開するため会を録音することについて、男女共同参画担当課長から説明。 2 区民懇談会の概要について <ul style="list-style-type: none"> ○事務局 区民懇談会の概要について、資料1及び資料2に基づき、男女共同参画担当課長から説明（省略）。 3 委員自己紹介 <ul style="list-style-type: none"> ○委員 所属団体や推薦母体、活動していること、応募の動機、懇談会への抱負や期待などについて、出席委員から自己紹介（省略）。 4 司会の選出 <ul style="list-style-type: none"> ○事務局 区民懇談会運営要綱第4条2項「懇談会の司会、進行については、懇談内容ごとに適したものを選出する。」とあることから、本日の議題に鑑み、学識経験者選出の村松委員に進行を依頼。 5 議題 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（令和元年度実績）について <ul style="list-style-type: none"> ○事務局 杉並区男女共同参画行動計画進捗状況調査報告書（案）（令和元年度実績）（以下「報告書」）について、資料3に基づき、男女共同参画担当課長から説明（省略）。 ○進行役 まずは全体についてご意見を伺います。 ○委員 杉並区男女共同参画行動計画 平成30～33年度（以下「行動計画」）は64事業から構成されていると認識していましたが、今回73事業になっている理由は何でしょうか。 	

- 事務局 従来から、目標1から目標3までに含まれる64事業に、「計画のさらなる推進のために」に含まれる9事業を加えた73事業を対象に進捗状況を確認しています。
- 委員 評価は担当課による自己評価が基本でしょうか。
- 事務局 報告書の2～3ページにあるとおり、73の事業については、それぞれの事業担当課において、数値目標等を踏まえ総合的に判断した結果、5段階の自己評価をしています。そのうえで、各事業を目標、課題及び取組別に括った単位の評価は男女共同参画担当が行っています。なお、これらの評価は庁内推進組織で確認したうえで取りまとめたものです。
- 委員 目標、課題及び取組別の各段階の評価については、違いが分かりづらいです。
- 事務局 複数の事業をまとめたものを取組、複数の取組をまとめたものを課題とし、それぞれを4つの目標別に整理しています。この目標、課題及び取組については、報告書の3ページにあるとおり、各事業担当課による評価を踏まえて、区民生活部男女共同参画担当が評価を行い、その結果を庁内推進組織で確認したうえで報告書にまとめています。
- 委員 目標、課題及び取組別の各段階の評価については、違いが分かりづらいです。
- 事務局 複数の事業をまとめたものを取組、複数の取組をまとめたものを課題とし、それぞれを4つの目標別に整理しています。この目標、課題及び取組については、報告書の3ページにあるとおり、各事業担当課による評価を踏まえて、区民生活部男女共同参画担当が評価を行い、その結果を庁内推進組織で確認したうえで報告書にまとめています。
- 委員 民間企業の場合は明確な数値目標を立て事業を実施していきませんが、行政の場合、定量的な目標値を掲げるのは困難であり、定性的な判断が多くならざるを得ないことは理解できます。
- 事務局 全てについて定量的な目標値を掲げるのは困難ではありますが、例えば、区で実施している「区民意向調査」の中で「仕事と生活の調和が図られていると感じる人の割合」を調査しており、これを目標1「ワーク・ライフ・バランス推進と実現の仕組みづくり」の成果を示す指標としています。
- 委員 事業15「女性の再就職支援の推進」は非常に重要だと考えますが、これは新規事業でしょうか。
- 事務局 現計画（平成30～33年度）を改定した際に、新たに盛り込んだ事業です。
- 委員 事業15「女性の再就職支援の推進」は評価4となっていますが、37ページの表「事業の目標別評価一覧」では、どこに含まれているのでしょうか。
- 事務局 37ページの表「事業の目標別評価一覧」のうち、縦軸「目標1 ワーク・ライフ・バランス推進と実現の仕組みづくり」と横軸の「評価4」が重なる「10事業・55.6%」の部分に含まれています。なお、「(8事業)」は昨年度の実績を比較できるように示したものです。
- 委員 事業15「女性の再就職支援の推進」における評価指標は「女性再就職支援セミナーの参加者数」ですが、この参加者は実際に再就職に結び付いたのでしょうか。同様に、事業17「創業支援」についても「セミナーの参加者数」が評価指標ですが、実際に創業に結び付いたのでしょうか。
- 事務局 現行の行動計画においては、セミナー参加者数を事業における評価対象としており再就職や創業の実績は把握していません。
- 委員 事業15「女性の再就職支援の推進」のセミナー参加者は、区民のみでしょうか。
- 事務局 このセミナーは東京都との共催であり、区民以外の参加者も含んだ人数です。
- 委員 事業15「女性の再就職支援の推進」は、セミナー参加者数が28人から38人に増えたという理由で評価4となったのでしょうか。
- 事務局 評価基準では計画値の80%以上の実績で評価4となりますが、今回は目標の80%にはわずかながら達していないものの、前年度実績から10人増えたことを踏まえ、評価4としたものです。
- 委員 事業2「産後における母子支援の充実 ①産後ケア事業」では「産後ケア利用者数(延)」を評価指標としていますが、デイ及び母子訪問の実績が大きく増加したのは、どのような理由によるのでしょうか。
- 事務局 産後ケア事業は、児童虐待未然防止の観点から実施しているものですが、実績としての利用者数は、家庭や母子の状況により前後するものと受け止めています。いずれにしても、区市町村における産後ケア事業の重要性は増しており、保健師などが早期に虐待の兆候をキャッチしながら、事業を推進しているところです。
- 進行役 では、目標2についてご意見を伺います。

- 委員 事業 24「防災会議における男女共同参画の推進」の評価指標「防災会議における女性委員の登用割合」について、令和元年度実績が 14.7%（5 人）と改善したのに令和 3 年度目標が 11・8%（4 人）のままとなっています。
- 事務局 防災会議の委員は、主に関係機関からの推薦を受けて任命しており、今後の女性委員の割合がどうなるかは何とも言えない事情があります。ただ今のご意見は、所管と共有し今後の参考とさせていただきます。
- 委員 防災会議の委員は、様々なカテゴリーから区長が任命ないし委嘱するとなっています。役職による指定はやむを得ませんが、それ以外は積極的に女性を推薦するよう通知したり、区長が積極的に委嘱するなどしてほしいです。
- 委員 進捗状況や評価が芳しくない事業について、今後どのように改善していくかについて報告書ではあまり記載されていません。
- 事務局 報告書にはページの都合もあり詳細は記載されていませんが、各事業の担当課において分析をし、改善点や今後の進め方について随時振り返りを行ったうえで、行政評価における事務事業評価表で明らかにしています。
- 進行役 では、目標 3 及び「計画のさらなる推進のために」についてご意見を伺います。
- 委員 31 ページ「10 生涯を通じた心とからだの健康支援」の「課題解決の方向性」において、「必要」「重要」といった表現がなされていますが、これらの優先順位はどのように考えられていますか。
- 事務局 やらなければならないことを「必要」とし、より重きを置くものを「重要」とするなど、一定の使い分けをしているところです。
- 委員 事業 59「タブレット端末を利用した窓口通訳サービス」について、平成 30 年度実績から大幅に増加し、令和元年度は 560 件となっていますが、令和 3 年度目標は 200 件のままとなっています。
- 事務局 当初、利用件数はさほど多くありませんでしたが、近年、区内にネパール人が増加していることもあり、多言語の通訳サービス利用が増加しています。ご意見は所管と共有し、今後の参考とさせていただきます。
- 委員 報告書は、暦年または会計年度のどちらで整理しているのでしょうか。また、事業 30 に「長寿応援ポイント」、事業 63 に「ゲートキーパー」といった用語がありますが、報告書にはそのような用語の意味が分かりづらいものが見受けられます。
- 事務局 報告書における記載は、会計年度としています。また、「長寿応援ポイント」は「地域活動等に参加した高齢者にポイントを付与し、それを還元できるようにする仕組み」、また、「ゲートキーパー」は「自殺対策として、適切な予防の対応を図る人」といった意味ですが、一般的でなく意味が分かりづらい用語については、注釈を入れるよう修正します。
- 委員 事業 65「特定事業主行動計画の推進」について、実績値が下がってしまったのが残念ですが、今後に向けた対策の検討をお願いします。また、事業 67「②職員に対する男女共同参画意識の啓発」の「男女共同参画 News」が興味深いため、委員として拝見したいです。
- 事務局 事業 65「特定事業主行動計画の推進」については、今後、ワーク・ライフ・バランス推進や男性の家事参加など、様々な機会を通じ、管理職を含めた職員全体に周知し、取組を進めていく考えです。また、「男女共同参画 News」は職員を対象としたものですが、委員の皆様にもお配りさせていただきます。
- 委員 事業 65「特定事業主行動計画の推進」については、何よりも管理職に向けた意識啓発が重要だと思います。
- 進行役 報告書をより良いものとするために、本日いただいたご意見を踏まえて必要な修正を行っていただくようお願いします。
- 事務局 そのように進めてまいります。
- 6 連絡事項等
- 事務局 次回懇談会の予定などについて説明。
- 7 閉会